

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 22 日現在

機関番号：14101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520984

研究課題名(和文) 現代カナダの先住民社会における世襲の意義と「政治」に関する人類学的研究

研究課題名(英文) An Anthropological Study on the Significance of Heredity and "Politics" among the First Nations of Canada.

研究代表者

立川 陽仁 (Tachikawa, Akihito)

三重大学・人文学部・准教授

研究者番号：20397508

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円、(間接経費) 960,000円

研究成果の概要(和文)：カナダでは、19世紀半ばに先住民社会に対して平等主義、民主主義的な政治的プロセスが導入された。しかし近年とくに20世紀の後半になり、旧来世襲によるリーダーが存在していた社会で世襲制の復権が確認されている。この研究ではクワクワカワクウという先住民を対象に、旧来から存在した世襲のチーフと民主化によって新たに誕生した投票によって選ばれたチーフの実践、イデオロギー、戦略などを分析した。

研究成果の概要(英文)：In Canada, democratic and egalitarian political process was introduced into the First Nations in the mid-nineteenth century. But resurgence of hereditary chieftainship has been seen lately in the societies where traditionally hereditary chiefs reigned over the communities. This study was aimed to analyze the practice, ideology and strategy of the two types of chieftainship: traditional hereditary chiefs and the "elected chiefs," leaders of the new era selected by an election.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・文化人類学・民俗学

キーワード：カナダ先住民 クワクワカワクウ 世襲チーフ 政治 ランク

1. 研究開始当初の背景

カナダ政府がいわゆる「インディアン法」を施行し、先住民社会に平等主義、民主主義を導入した19世紀半ば以来、先住民社会にはそれらのイデオロギーが少なからず根付いてきた。政治的なリーダーを世襲ではなく投票で選ぶこともその影響の1つである。

しかし近年、それらの先住民社会において世襲が復活してきたという現状がある。ある先住民社会では、一度確立したはずの投票制度が廃止され、改めて世襲によるリーダーシップが復権している。また、別の社会では、投票そのものは存在するものの、事実上そこで当選するのは世襲のリーダーたちであることがある。

上記の社会的背景に加え、私のそれまでの研究が本題にある研究テーマを選択するきっかけを与えた。私はこれまで(科研において)カナダ先住民の生業、資源管理、開発などの経済領域の問題に取り組んできた。その過程で、私は政治的な領域の理解の必要性、とくに政治的なリーダーをめぐる諸問題の理解の必要性を痛感した。

これらの背景があり、本研究テーマに取り組む次第となった。

2. 研究の目的

政治というトピックは、人類学においてはすでに過去のものとなっていた。アフリカを中心とした古典的な政治人類学、それに続いておこったバルトやボワセヴァンなどによる交換と信用を軸にした(おもに近代、ヨーロッパのコミュニティを対象とした)政治人類学の流れがあり、どちらもそれなりの成果を生んだ。しかし、それ以後、政治人類学というジャンルは下火になり、このテーマが扱われることがなくなっていた。

しかしグローバル化が浸透し、多くの周辺社会においても変化が起きた現在、そのグローバル化の在り方をめぐって政治的リーダーの役割の大きさが指摘されることも目立ってきた。本研究においても同様で、私自身がこれまでグローバル化に伴うカナダ先住民の社会の経済領域の変容を扱ってきたなかで、政治領域とくに政治的リーダーの役割の重要性を痛感した次第であった。

このような次第で、人類学の低位領域としての政治人類学に新たな方向性を打ち出すことが目的の1つである。

そしてこの研究には、もう1つ、実際的な目的もあるといえる。それはカナダの先住民行政という文脈においてのものである。この研究では、カナダ政府が導入した民主主義がなぜ全体的に成功しないのかを、ミクロな視点、ないし住民の生活世界の側から分析するものである。したがって、その研究の成果から、少なくとも以下の点が明らかになり、また実際の政策にも応用できると思われる。

(1) なぜ一部の先住民社会で民主的リー

ダーが支持されないのか。

- (2) 民主的リーダーは先住民社会においてどういう存在だと認識されているのか。
- (3) なぜ世襲のリーダーシップが復権したのか。
- (4) 世襲のリーダーたちは具体的にいかなる戦略でみずからの地位を守ろうとしているのか。
- (5) 「棲み分け」の言説、つまり、世襲のリーダーと投票で選ばれるリーダーが勢力の配分をしているという言説は、実状とあっているのか。あっていないなら、どこがどうあわないのか。

3. 研究の方法

この研究では、人類学的な手法が主として使われる。

人類学的手法という場合、大きく2つの意味がある。まず、ミクロな視点、あるいは住民の生活世界の側から物事を分析するという手法である。

もう1つは、データ収集の手法として、文献収集に限定せず、実地でのフィールドワークをおこなう点である。

そこで私は、これまで10年以上のつながりがあるカナダの北西海岸(太平洋沿岸の文化領域)の先住民、クワクワカワクウ(Kwakwaka'wakw)という集団の、ある親族集団のところに調査に行くことにした。3年間の研究期間中、毎年約1ヶ月間を調査に費やし、また帰国後もSNSやメールなどで交流を図った。

それと同時に、国内外のさまざまな機関(北海道大学、カナダ大使館、カナダのピクトリア大学、プリティッシュ・コロンビア大学など)の図書館で適宜資料の収集をおこなった。

また、今回の研究のデータ収集においては、現在クワクワカワクウ社会で世襲チーフといわれている人物、そういわれているが実際には違う人物(自称世襲チーフ)などのリストを作るのが有効になったので、インターネットの情報もおおいに活用できた。

4. 研究成果

(1) 旧来からの世襲チーフがいる社会における、世襲チーフと「選出チーフ」(elected chief、カナダのインディアン法 Indian Act 施行以後に導入された、投票で選ばれるリーダー)との併存の在り方についての言説が理解された。

世襲チーフと選出チーフがいる社会では、両者は併存し、しかも勢力の棲み分けをおこなっているという言説が多く確認されている。

そしてこの「棲み分け」の言説には、2つの前提がある。それは、両者が対等であること、そして両者の属性が正反対であることで

ある。この前提があるからこそ「世襲チーフは社会領域、選出チーフは政治領域を扱う」などという言説が生まれるのである。

しかもこのような言説は、学術世界内外において確認できる。

なお、世襲のチーフと能力型リーダーの対比という点では、オセアニアの政治人類学における分厚い研究の蓄積がある。その研究成果がおおいに本研究でもいかされた。

(2) 上記のような言説が実状にどれほど当てはまるのかという点を実証的に探った。

まず、私のフィールドであるクワクワカククの社会では、世襲チーフと選出チーフは対等ではない。前者こそが真正なるリーダーであり、後者に対する圧倒的な優越が確認されるのである。本来なら選出チーフの仕事とされるものの大半も、世襲チーフがおこない、なおかつ世襲チーフが選出チーフの投票において勝つという現実もある。13ある行政単位において、すでに3つでは投票自体をやめており、そこでは世襲チーフが選出チーフの仕事と完全に兼ねている。残りの10の行政単位でも、じつは8つにおいては世襲チーフが投票で勝っている。

選出チーフの選出方法以外においても、世襲チーフの優越がうかがえる点は多々ある。たとえば仕事の内容もそうであり、この社会においては世襲チーフは本来選出チーフの職務とされるべき仕事の多くを昔からおこなってきた。オセアニアの能力型政治リーダーと同様、クワクワカククの世襲チーフたちはみずからの財力と巧みな交換を通じて、コミュニティの人びとを経済的に支援してきた実績がある。そしてこれは、本来は(近代の文脈では)選出チーフの仕事とされてきたものだった。

他方で、同じく旧来からの世襲チーフがいるが、選出チーフの力が強いといわれてきたコースト・セイリッシュ(Coast Salish)のシーシェルト(Sechelt)というコミュニティについても若干の分析をおこなっている。シーシェルトはたしかに選出チーフの力が強く、世襲チーフとの勢力の棲み分けをおこなっている。しかしこのコミュニティにおいても、世襲制の復権を望むイデオロギーが存在し、それを実行に移そうとした時期があった。しかしシーシェルトという行政単位そのものが旧来の4つの親族集団を人為的に統合させた人工的な集団だったため、親族集団の長である世襲チーフによる統治体制を復権させることが難しかったのである。つまり、一見選出チーフの力が強い社会でも、世襲制の復権というイデオロギーそのものは強く残っているのである。

(3) 上記(2)で述べたような、強く世襲制の復活を望むイデオロギーが社会にある現在、世襲の権威をもたない人物がいかにして政治的権威を得るのか、その戦略について個別事例をもとに分析した。

まず、世襲の地位をもたない人が世襲の地

位を主張する場合である。これは原理的に不可能だと思われるが、実際にはあり得ることで、そのからくりを分析した。

つぎに、裁判に訴える方法である。判決は絶対的だと思われるが、実際にはそうはならないことを事例から分析した。

最後に、結婚を通じた姻戚関係から獲得する場合である。

(4) 上記の(1)から(3)をふまえ、世襲とはそもそも何かという点を分析した。

私が調査をおこなってきた北西海岸において、世襲のポストには伝統的に、宗教的ないし象徴的な権威付けの論理が存在した。北西海岸では、ある称号こそが世襲で相続されていく。そしてその称号には親族集団の祖先の人格が含まれている。つまり称号を相続すると、その人は祖先の人格を引き継ぐことになる。なお、この称号は、名前、歌、踊り、道具などと一体化されており、その意味で世襲のポストをもつ、つまり称号をもつということは、自分の権威を自身の体に外在させているということになる。そして権威が(他の民主社会におけるリーダーのように)みずからの実践の内にあるのではなく、自身の体から離れたところにモノとして外在しているからこそ、その権威は安定していると説明できるし、そうされてきたのである。

しかし本研究では、この想定自体が間違っていることを明らかにした。この称号は、たしかにモノとしてある人物に権威の論理を与える。しかしその権威は絶え間ない実践によって日々更新されていかなければならないのであり、その意味で彼(世襲ポストは男にしか相続されない)の地位はけっして安定したものではないのである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4件)

立川 陽仁、北西海岸先住民の現代における歓待について フィールドワーカーの経験からの覚書、人文論叢(三重大学人文学部文化学科紀要) 31号、査読無、2014、73 - 85

立川 陽仁、チーフはだれか 現代カナダにおけるある判決と先住民社会をめぐる、人文論叢(三重大学人文学部文化学科紀要) 30号、査読無、2013、73 - 85

立川 陽仁、北西海岸先住民の歴史的背景、国立民族学博物館調査報告(SER) 査読有、掲載確定(執筆、掲載確定は2011年だが諸事情により出版が遅れている)

立川 陽仁、先住民アーティストの交流と文化様式、国立民族学博物館調査報告

(SER)、査読有、掲載確定(執筆、掲載確定は2011年だが諸事情により出版が遅れている)

〔学会発表〕(計 2件)

立川 陽仁、カナダ北西海岸先住民のチーフ制とサケ漁撈 (Chieftainship and the Salmon Food Fishery on the Northwest Coast of Canada) 国際シンポジウム「北太平洋沿岸諸先住民文化の比較研究 先住権と海洋資源の利用を中心に」(Comparative Studies of Indigenous Cultures around the North Pacific Rim: Focusing on Indigenous Rights and Marine Resource Utilization) 2014年1月11日、国立民族学博物館、大阪府吹田市

立川 陽仁、北米先住民クワクワカワクウのポトラッチにおける贈与と交換 ポトラッチ研究史の再検討から、国立民族学博物館共同研究会『贈与論再考 「贈与」・「交換」・「分配」に関する学際的比較研究』(岸上伸啓代表)第3回研究会、2013年3月3日、国立民族学博物館、大阪府吹田市

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

立川 陽仁 (TACHIKAWA, Akihito)
三重大学・人文学部・准教授

研究者番号：20397508

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：